

2022年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月14日
東

上場会社名 株式会社バンク・オブ・イノベーション 上場取引所
 コード番号 4393 URL <https://www.boi.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 智裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO経営管理部長 (氏名) 河内 三佳 (TEL) 03-4500-2899
 定時株主総会開催予定日 2022年12月27日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2022年12月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期の連結業績(2021年10月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期	2,428	14.1	△1,008	—	△1,015	—	△838	—
2021年9月期	2,129	△30.5	△807	—	△801	—	△541	—
(注) 包括利益	2022年9月期		△838百万円(—%)		2021年9月期		△541百万円(—%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年9月期	△217.96	—	△151.8	△45.1	△41.5
2021年9月期	△141.28	—	△54.7	△28.4	△37.9

(参考) 持分法投資損益 2022年9月期 一百万円 2021年9月期 一百万円

(注) 2021年9月期及び2022年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年9月期	2,039	399	18.7	95.54
2021年9月期	2,469	722	29.3	188.13

(参考) 自己資本 2022年9月期 382百万円 2021年9月期 722百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年9月期	△974	96	349	822
2021年9月期	△729	△65	△74	1,351

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

2023年9月期の連結業績予想につきましては、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等につきましては、添付資料P. 3「1. (4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年9月期	3,999,000株	2021年9月期	3,951,000株
② 期末自己株式数	2022年9月期	34株	2021年9月期	111,768株
③ 期中平均株式数	2022年9月期	3,846,695株	2021年9月期	3,833,341株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年9月期の個別業績（2021年10月1日～2022年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期	1,546	△21.4	△824	—	△811	—	△605	—
2021年9月期	1,968	△35.7	△583	—	△564	—	△414	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2022年9月期	△157.29		—					
2021年9月期	△108.10		—					

(注) 2021年9月期及び2022年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失のため、記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2022年9月期	2,348		840		35.1	205.93		
2021年9月期	2,633		930		35.3	242.33		

(参考) 自己資本 2022年9月期 823百万円 2021年9月期 930百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況からの脱却が進む社会経済活動や各種政策の効果により、景気が持ち直していくことが期待されておりますが、海外の金融政策による影響や供給面での制約、金融資本市場の変動等による影響には十分に注視する必要があります。

当社グループの事業を取り巻く環境においては、2021年の国内ゲームアプリ市場規模は1兆3,060億円と安定した推移が続いております（参考：株式会社角川アスキー総合研究所「ファミ通モバイルゲーム白書2022」）。

このような事業環境のもと、当社グループの中長期的な成長の要となる複数の新規アプリの企画・開発及び既存アプリの運営に取り組んでまいりました。ゲームにおいては経年による課金高の減少が続いた一方で、ゲーム恋活アプリ『恋庭』は2021年12月の大型アップデートを機に月間課金高・DAU等の各種KPIが好調に推移した結果、グループ全体の売上高は前連結会計年度比で増収となりました。しかしながら、新作アプリの開発費用及び『恋庭』・新作RPG『メメントモリ』のプロモーション費用が先行したことが主な要因となり、引き続き営業損失を計上する結果となりました。また、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、当連結会計年度において繰延税金資産を追加計上し、法人税等調整額（△は利益）△180,435千円を計上いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は2,428,853千円（前連結会計年度比14.1%増）、営業損失1,008,362千円（前連結会計年度は営業損失807,587千円）、経常損失1,015,877千円（前連結会計年度は経常損失801,937千円）、親会社株主に帰属する当期純損失に関しては838,454千円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失541,587千円）となりました。

なお、当社グループはスマートフォンアプリ関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は2,039,889千円となり、前連結会計年度末に比べ429,436千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が629,744千円減少、繰延税金資産が180,435千円増加したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は1,640,564千円となり、前連結会計年度末に比べ106,473千円減少いたしました。これは主に、短期借入金が300,000千円増加、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む。）が466,305千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は399,324千円となり、前連結会計年度末に比べ322,963千円減少いたしました。これは主に、新株予約権行使により資本金及び資本剰余金が315,519千円増加、自己株式が182,740千円減少、親会社株主に帰属する当期純損失を838,454千円計上したことに伴い利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果使用した資金は974,294千円（前連結会計年度比244,462千円の支出増）となりました。主な要因は、税金等調整前当期純損失の計上1,015,877千円、売上債権の増加額72,427千円、未払金の増加額108,392千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果得られた資金は96,359千円（前連結会計年度は65,443千円の支出）となりました。主な要因は、定期預金の純減101,000千円、無形固定資産の取得による支出2,104千円、敷金及び保証金の差入による支出2,335千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果得られた資金は349,186千円（前連結会計年度は74,916千円の支出）となりました。主な要因は、短期借入金の純増額300,000千円、長期借入金の純減額466,305千円、株式の発行による収入137,139千円、自己株式の処分による収入351,893千円、新株予約権の発行による収入26,660千円であります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、「品質最優先」の方針のもと、既存ゲームアプリの長期運営並びに自社IPの育成を行いつつ、高品質の新規のゲーム及びサービス（以下、「新規アプリ」）の開発・運営等によって、数年ごとに年間売上高を数倍規模に引き上げていくことを目指しております。また、当社グループの新規アプリは、自社IPかつ自社開発であることから利益率が高く、ヒットによって大きなリターンを得られる可能性がある一方、開発本数を絞ることによるリスクが存在するのも事実であり、また既存アプリの経年による売上高減少も想定しております。

当社グループは引き続き、ゲーム内外問わずユーザーに長く楽しんでいただくための施策の投入等を通してよりよいサービスの提供を目指すとともに、高品質の新規アプリ開発に注力してまいります。

なお、2022年10月18日にリリースした新作大型RPG『メメントモリ』の初速が非常に好調であり、今後大きな業績変動が見込まれます。また、機動的な投資判断を実施していく方針であることから、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため、2023年9月期の連結業績予想は非開示とさせていただきます、期間等の経過により、情報利用者をミスリードさせることのない適正かつ合理的な業績予想を行うことが可能となった時点で速やかに開示いたします。

また、本書提出日時点における新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響は軽微であります。今後、当社グループの業績等に重要な影響を及ぼす変化が観測された場合には、適時開示にてお知らせいたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準は日本基準を適用しております。なお、IFRSの適用につきましては、当社グループの事業における内部環境及び外部環境を考慮したうえで、適切な対応をとっていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当連結会計年度 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,673,572	1,043,828
売掛金	226,087	298,515
その他	139,718	79,960
貸倒引当金	△5,000	—
流動資産合計	2,034,379	1,422,303
固定資産		
有形固定資産		
建物	10,679	10,679
減価償却累計額	△10,580	△10,637
建物(純額)	98	42
工具、器具及び備品	28,520	27,916
減価償却累計額	△20,201	△22,787
工具、器具及び備品(純額)	8,318	5,129
有形固定資産合計	8,416	5,171
無形固定資産		
ソフトウェア	5,571	6,407
無形固定資産合計	5,571	6,407
投資その他の資産		
繰延税金資産	354,636	535,071
敷金及び保証金	66,322	68,657
その他	3,355	2,277
貸倒引当金	△3,355	—
投資その他の資産合計	420,958	606,006
固定資産合計	434,946	617,585
資産合計	2,469,325	2,039,889

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当連結会計年度 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	466,305	424,890
未払金	166,903	275,296
その他	133,124	84,563
流動負債合計	766,333	1,084,749
固定負債		
長期借入金	980,705	555,815
固定負債合計	980,705	555,815
負債合計	1,747,038	1,640,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	490,943	560,929
資本剰余金	468,383	713,916
利益剰余金	△54,201	△892,655
自己株式	△182,838	△97
株主資本合計	722,287	382,092
新株予約権	—	17,231
純資産合計	722,287	399,324
負債純資産合計	2,469,325	2,039,889

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)	当連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)
売上高	2,129,218	2,428,853
売上原価	2,327,013	2,381,676
売上総利益又は売上総損失(△)	△197,795	47,177
販売費及び一般管理費	609,791	1,055,539
営業損失(△)	△807,587	△1,008,362
営業外収益		
受取利息	42	17
受取手数料	—	6,413
助成金収入	17,164	3,330
その他	1,837	406
営業外収益合計	19,045	10,168
営業外費用		
支払利息	11,607	15,246
支払手数料	1,788	2,436
営業外費用合計	13,395	17,683
経常損失(△)	△801,937	△1,015,877
税金等調整前当期純損失(△)	△801,937	△1,015,877
法人税、住民税及び事業税	3,996	3,012
法人税等調整額	△264,346	△180,435
法人税等合計	△260,350	△177,422
当期純損失(△)	△541,587	△838,454
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△541,587	△838,454

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)	当連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)
当期純損失(△)	△541,587	△838,454
包括利益	△541,587	△838,454
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△541,587	△838,454

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	490,943	468,383	491,571	△194,015	1,256,883	—	1,256,883
当期変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)	—	—			—		—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△541,587		△541,587		△541,587
自己株式の取得				△273	△273		△273
自己株式の処分			△4,185	11,451	7,266		7,266
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						—	—
当期変動額合計	—	—	△545,772	11,177	△534,595	—	△534,595
当期末残高	490,943	468,383	△54,201	△182,838	722,287	—	722,287

当連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	490,943	468,383	△54,201	△182,838	722,287	—	722,287
当期変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)	69,985	245,533			315,519		315,519
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△838,454		△838,454		△838,454
自己株式の取得				△201	△201		△201
自己株式の処分				182,942	182,942		182,942
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						17,231	17,231
当期変動額合計	69,985	245,533	△838,454	182,740	△340,194	17,231	△322,963
当期末残高	560,929	713,916	△892,655	△97	382,092	17,231	399,324

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)	当連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△801,937	△1,015,877
減価償却費	6,560	4,714
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8,355	△8,355
受取利息	△42	△17
助成金収入	△17,164	△3,330
支払利息	11,607	15,246
売上債権の増減額 (△は増加)	141,811	△72,427
未払金の増減額 (△は減少)	575	108,392
前受金の増減額 (△は減少)	△93,545	△88,841
未収消費税等の増減額 (△は増加)	65,858	53,401
その他	△123,469	45,678
小計	△801,390	△961,416
利息の受取額	42	17
利息の支払額	△11,608	△15,352
法人税等の支払額	△150	△872
法人税等の還付額	66,110	—
助成金の受取額	17,164	3,330
営業活動によるキャッシュ・フロー	△729,831	△974,294
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	20,006	111,000
定期預金の預入による支出	△80,001	△10,000
有形固定資産の取得による支出	△5,521	△201
無形固定資産の取得による支出	—	△2,104
敷金及び保証金の回収による収入	73	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△2,335
投資活動によるキャッシュ・フロー	△65,443	96,359
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	300,000
長期借入れによる収入	500,000	80,000
長期借入金の返済による支出	△581,909	△546,305
株式の発行による収入	—	137,139
自己株式の処分による収入	—	351,893
自己株式の取得による支出	△273	△201
ストックオプションの行使による収入	7,266	—
新株予約権の発行による収入	—	26,660
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,916	349,186
現金及び現金同等物に係る換算差額	104	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△870,087	△528,744
現金及び現金同等物の期首残高	2,221,460	1,351,372
現金及び現金同等物の期末残高	1,351,372	822,628

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

従来、該当する会計期間にユーザーが課金した金額(①)に、前期末(②)及び該当する会計期間末(③)においてユーザーが使用していない仮想通貨(未消費仮想通貨)を見積って算定した前受金を加減算(①+②-③)することにより、仮想通貨の消費時に売上を計上しておりましたが、当連結会計年度から、ユーザーが仮想通貨を消費した際に提供するアイテムの性質に応じて売上を計上する方法に変更しております。なお、当社グループがユーザーに対して提供するアイテムは、購入から消費までの期間が極めて短いことから、結果として従来どおりユーザーが仮想通貨を消費して当社グループがアイテムを提供した時に売上を計上しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、当連結会計年度の利益剰余金及び損益に与える影響はありません。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。また、収益認識会計基準第89-3項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度に係る「収益認識関係」注記については記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19号及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。

(セグメント情報等)

当社グループはスマートフォンアプリ関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)	当連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)
1株当たり純資産額	188.13円	95.54円
1株当たり当期純損失(△)	△141.28円	△217.96円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)	当連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△541,587	△838,454
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△541,587	△838,454
普通株式の期中平均株式数(株)	3,833,341	3,846,695
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。